Japan Geoscience Union Meeting 2015
(May 24th - 28th at Makuhari, Chiba, Japan)
©2015. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.

SVC45-P41 会場:コンベンションホール 時間:5 月 27 日 18:15-19:30

# GNSS 火山変動リモート観測装置（REGMOS）の改良とその効果
# Improvement of REGMOS (Remote GNSS Monitoring System)

古屋 有希子 [1*] ; 上芝 晴香 [1] ; 吉岡 貢 [1] ; 成田 次範 [1] ; 村山 盛行 [2] ; 武山 峰典 [2] ; 福森 秀晃 [2]
FURUYA, Yukiko[1*] ; UESHIBA, Haruka[1] ; YOSHIOKA, Mitsugu[1] ; NARITA, Tsugunori[1] ; MURAYAMA, Shigeyuki[2] ; TAKEYAMA, Minenori[2] ; FUKUMORI, Hideaki[2]

[1] 国土交通省国土地理院, [2] 株式会社テクノバンガード
[1]GSI of Japan, [2]Techno Vanguard Corporation

国土地理院では、電気・通信等のインフラが整備されていない火山地域において浅部マグマの挙動を監視する目的で、自律型の観測装置である GNSS 火山変動リモート観測装置（REGMOS）を開発し観測を行ってきた。
REGMOS には、GNSS 受信機・アンテナのほか、温度計や傾斜計、ネットワークカメラ等が取り付けられており、これらのデータは 1 時間に 1 度、国土地理院のサーバへ転送されている。
2013～2014 年度には、REGMOS に対し３つの改良を行った。１つ目は、富士山に設置している REGMOS について、従来の GPS 衛星のみの受信からマルチ GNSS 衛星（GPS ＋グロナス＋ガリレオ＋準天頂）を受信できるよう改良した。２つ目は、地上携帯電話（FOMA）サービスエリア内に設置してある REGMOS ４基に対し、従来の衛星携帯電話ではなく、地上携帯電話を用いた通信方法に変更した。３つ目は、ネットワークカメラの静止画像撮影頻度とデータ転送頻度を向上させ、画像を連続で撮影し、撮影後すぐに画像データを国土地理院へ転送できるよう改良した。
本発表では、これら改良の詳細とその効果について報告する。

キーワード: GNSS 火山変動リモート観測装置, レグモス, 火山, 地殻変動
Keywords: Remote GNSS Monitoring System, REGMOS, Volcano, Crustal Deformation